

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
中心市街地地区(第2期)

令和2年3月
北海道伊達市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	災害対策への満足度	%	51.7	60	—	確定 見込み ●	—	あり ● なし	70.6	令和元年10月 ～ 令和2年1月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設の完成に伴い、自由通路を避難訓練に組み込む等、浸水災害等に対する避難経路と一時避難場所の確保について、地域住民に周知が図られたことにより、満足度が向上したものと考えられる。
指標1	自由通路利用者数	人/日	479	500	545	確定 ● 見込み	○	あり なし	—			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自由通路が整備されたことで、自転車や車いすのエレベータ利用が可能となり、安全性・快適性が向上したことから、利用者の増加につながったと考えられる。
指標1	まちづくり会合数の増	回/年	163	200	184	確定 見込み ●	△	あり ● なし	244	令和元年4月 ～ 令和2年1月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	第1期で整備した地域交流センターに加え、駅南集会所が整備され、施設の機能向上により利便性が高まったことで、地域住民の利用機会が増加し、地域コミュニティの活性化が図られたと考えられる。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
成果を持続させるために 行う方策	住民の防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自由通路を一時避難場所として設定した避難訓練を実施 ・住民説明会による駅南集会所の一時避難場所としての利用方法についての意見交換を実施 ・防災の取り組みに関する住民アンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に高台がない地域住民に対する災害時の一時避難場所としての意識付けがなされた。 ・平時の防災意識の向上がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のエレベータ利用や、一時避難に対する誤解が一部みられることから、避難訓練等による継続した意識付けを図る。
	街路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・停車場通街路整備事業の一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続する駅前1号線と併せたバリアフリー化とともに、LED化された街路灯により、利便性・安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備となっている停車場通の残区間と南大通の早期整備による、街路網の連続した整備効果発現を目指す。
	市民活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートやワークショップによる市民要望の把握と、指定管理者による民間活力の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を求める公共施設などの市民の声を把握できたほか、指定管理者の管理による施設の利用促進と柔軟な活用が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声の政策反映と、整備した施設の利用率の維持、向上を目指す。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	関連事業(停車場通整備事業)の完了	<ul style="list-style-type: none"> ・停車場通街路整備事業の一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続する駅前1号線と併せたバリアフリー化とともに、LED化された街路灯により、利便性・安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収の難航などにより遅れが生じているが、早期の完成を目指し、北海道が整備を進めている。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり策

追加が考えられる今後のまちづくり策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項